



発行 No. 第132号

発行日 平成31年1月1日

発行人 市川 國雄

発行所 公益社団法人 福島市
シルバー人材センター

福島市東浜町11-40

電話(024)531-2511



第38回福島市シルバーまつり ～市長も来訪、盛大に開催～

シルバー事業の普及啓発と日頃からご支援をいただいている市民の方々への感謝を込めて毎年開催している福島市シルバーまつりが、11月3日(土)アオウゼで盛大に開催されました。

一際目立つ大きなアーチの前でのテープカットではじまり、開場と同時に会員が心を込めて作った新鮮野菜や旬の果物、手工芸品を買い求める人で賑わいました。出店した会員の方々は各自趣向を凝らし、自慢の品々をアピールしながら来場者とのふれあいを楽しんでいました。アオウゼ来館者数500万人達成記念セレモニーで公務をされていた木幡浩福島市長もまつり会場を訪れていただき、会場に花を添えていただきました。

毎年好評の再生自転車は今年初めて抽選方式で頒布をしました。準備した20台に対し120

名ほどの申し込みがあり、中には17倍の倍率になった自転車もありました。

障子・網戸はりの実演コーナーは人だかりが絶えず、自宅の張り替えに挑戦したいと、体験するお客様も多かったです。包丁研ぎも多くの注文を受け、毛筆体験も人気でした。

当日は祝日で天気も良く、市内でも各地でイベントが開催されたことから、子どもの来場が少なく、ここに親子の広場は少し寂しい感じがありましたが、輪投げを楽しむ子どもの笑い声が響きました。

チャリティバザーでは来場者皆様のご協力により29,080円の益金があり、福島市社会福祉基金に寄付をしました。

今年も11月にシルバーまつりを開催します。老若男女、多数の来場者においでいただきたく、皆様からのアイデアを頂戴し取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。



明けましておめでとうございます



年頭にあたって

理事長

市川 國雄

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

また、昨年センターの運営をはじめ諸事業の実施にあたりご協力・ご支援を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、災害級とも言われた猛暑や、各地で発生した豪雨、北海道胆振地方での大震災など、昨年は自然の猛威を改めて感じた一年でした。センターにおいても、猛暑のため熱中症等で体調を崩した会員の方も多く、また、暑さや疲れのためか注意力が低下し、傷害事故、物損事故が多発し

ました。どうか会員の皆様におかれましては、体調管理を徹底し、安全就業にご留意いただき、事故ゼロを目指した就業をお願いいたします。

いよいよ今年は創立40周年の節目の年となりました。この節目を契機に、さらなる事業の推進に取り組んでまいり所存です。また、式典をはじめ各種事業においても「創立40周年」を冠し、盛大に開催されることとなります。事業の推進、各種事業の開催は会員の皆様のご協力が不可欠です。会員の皆様と役職員が一丸となり、実りある輝かしい40周年にしていきたいと思います。

結びに、会員皆様にとりまして、本年が希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。



新年のあいさつ

福島市長

木幡 浩

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、希望を胸に新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から市政全般にわたり特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

貴センターは、昭和55年の創設以来、会員並びに役員の皆様をはじめ、関係各位のご尽力により、全国でも屈指のセンターに発展されておりますこと、心から敬意を表する次第であります。

就任一年目の昨年は、全力で走り続けた一年でした。東日本大震災および原発事故からもうすぐ8年、未だ復興の途上にありますが、市政は大きく動き始めました。

昨年4月には中核市へと移行し、いのちと健康を守る拠点として保健所を設置し、新しい夜間

急病診療所がオープン、地域包括支援センターを22カ所に増設しました。

また、10月1日には、市民が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、福島市在宅医療・介護連携支援センターを開所するなど高齢者を支える体制も充実しました。

こうした中であって、貴センターの事業は、高齢者の皆様が長年培ってきた技能や豊かな知識・経験を生かして雇用の安定を図り、やりがいや生きがいを創出することで、ひいては健康寿命を延ばす大切な役割を担うものであります。どうか、会員の皆様におかれましては、今後とも健康に留意されながら、地域社会の中心として、ご活躍くださいますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターが「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、一層の飛躍を遂げられますとともに、会員の皆様にとりまして、本年が希望に満ち、健康で幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

会員の「声」

このコーナーでは会員の皆さまの「声」をお届けしていきます。今回は「シルバーまつり」に出店をした会員の皆さまの感想やご意見をお届けします

秋廣孝子 (和風小物、ニット帽)



1年に一度のお祭りと思い楽しく過ごさせていただきました。お客様との楽しい語らい「来年も新しいもの素敵なものに出会える。又、楽しみにきます」お客様の期待に応えられる様、新しいデザイン感覚を出さねばと思いました。

石井 茂 (野菜、手芸)

シルバー祭りは2回目の参加で、今年も仲間との触れ合いができ楽しく参加させていただきました。また、来年も是非参加したいと思えます。



栗原利視 (漬物、野菜)

前年よりお客さんが少なかったため、来年に期待したい。



佐藤静子 (人形、敷物)



昨年よりも売り上げは減少しましたが、商品によっては、大変喜んでいただいた物も多くあります。今年は例年よりお客様が少ないような気がするのですが、やはり不況の為か、様々な面で物価が上がっているためとも思いました。

阿部貢也 (食用菊、落花生)

食用菊は見た目もきれいなためか、早めに完売。落花生は土付きのためか遅れて完売。紫色の食用菊を是非欲しいとおっしゃる方が完売後にいらっしゃったので後日届ける事としました。喜んでいただける事は嬉しい事です。



菅田八郎 (果物)

今年は、ちょっとお客様が少ない様に感じた。でも参加できて楽しかった！
来年もがんばります！！



鈴木重弘 (アクセサリー)



少しではありますが、リピーターさんと顔なじみができました。色々とアドバイスをいただいたり、お互いにアイデアの交換もあり、有意義な時間をとらせてもらいました。

黒沢テル (漬物、野菜、冬柿)

当日はいいお天気で、お客様にいっぱい買っていただいて感謝しております。



渡辺イチ (野菜)



当日は天気が良く、午前中は本当に忙しく活気がありましたが、外にも催し物があったせいかお昼からは、すーっとお客様がいなくなりましたが参加できて良かったです。

原田道男 (陶器)

顧客とのやりとり会話が実に楽しい。心が若返ります。来年も又参加したいと思います。



チャリティーバザー (古着、雑貨)

に
刀を!
バザー



品物が良かったので売れましたが、今年は品数が少なかった。バザーの売上金は、市の社会福祉基金へ寄付させていただくことになっているので、来年は少しでも多くご協力いただければと思います。

手芸クラブ (帽子、ベスト、バッグ)

おかげ様で沢山の方にお買い上げいただき、一生懸命作った甲斐がありました。毎年楽しみに来て下さる方もいらして、大変励みになっています。今度は花見山に向けて頑張ります。



花ももの会 (玉こんにゃく、お赤飯)



平成最後のシルバーまつりも例年通りはなやかに開場いたしました。開場前より多くのお客様が見えられており、シルバーまつりも漸く地域に浸透しつつあることを感じました。花ももの会も、おでん・赤飯・コーヒーなど行列を作ってお待たせくださるお客様もおり、野菜・漬物・果物なども完売となり大好評に終わりました。これもひとえに会員の手作り製品を提供できる場を作っていただいたことで、会員の生き甲斐ともなり大変喜ばしいことです。

ただ、これからますます多様化する社会のなかで、お客様のニーズに如何にこたえていくかが今後の大きな課題ともなるでしょうが、今後共ますますのシルバー事業の充実と発展を心より願っております。

花ももの会 会長 亀岡ツル

～シルバーまつりに市長も来訪～



事業レポート

毛筆班研修会

9月14日・12月7日 於:シルバー人材センター

毛筆班では技術の向上を図るため、研修会を重ねています。9月14日と12月7日に各9名が参加し、島崎藤村の詩や漢詩を用いて、楷書体と草書体の練習をしました。これからの季節、毛筆班は卒業証書関係で大忙しです。



市と市議会に要望活動

10月16日 於:福島市役所

写真右
健康福祉部長
加藤 孝一様



就業機会の確保・拡大を図り、急増する高齢者の受け皿としての機能を果たすとともに、地域のニーズに速やかに対応できる体制の充実を図るため、事業推進に係る補助金と公共事業の発注について要望活動をしました。



写真左
福島市議会議長
半沢 正典様

社会奉仕作業

11月15日 於:荒川桜づつみ河川公園



毎年恒例の社会奉仕作業。今年は吾妻山からの強い風の中84名が参加し、ラジオ体操で体をほぐした後、落葉やゴミの清掃をしました。準備したゴミ袋が足りなくなるほどの落葉の量で、作業終了後の花ももの会による芋煮汁を食べながら、みなさん充実した表情をしていました。

年々参加者が減っています。奉仕作業に限らずセンター事業への積極的な参加をお願いいたします。

その他の事業(9月~12月)

- 9月 14日 運営調整会議
- 19日 理事会/安全・適正化就業委員会
安全就業推進会議
- 10月 12日 運営調整会議
- 17日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 19日 地区委員・地区班長会議
- 11月 16日 運営調整会議
- 21日 理事会/安全・適正化就業委員会
就業開拓委員会
- 12月 14日 運営調整会議
- 17日 西1地区会議/松川地区会議
- 19日 理事会/安全・適正化就業委員会
安全就業推進会議/総務委員会
- 20日 福島2地区会議/蓬萊地区会議

福島市シルバー人材センター安全標語「お帰りの声を聞くまで 気を抜かず」

事務局からのお知らせ

配分金収入に対する所得税の取扱いについて

配分金は、税法上「雑所得」として扱われます。雑所得の金額は原則として65万円が控除されます。

○公的年金を受給している方は、配分金収入とは別に公的年金等控除が受けられます。

○給与所得がある方は、給与所得控除が受けられます。

不明なことがありましたら、事務局または税務署にお問い合わせください。

安全就業研修会

下記のとおり開催いたします。

日時 平成31年3月5日(火) 13時30分～

場所 とうほう・みんなの文化センター
(福島県文化センター・福島市春日町5-54)

内容 笑い与健康～認知症予防について～(仮)
講師：福島県立医科大学医学部疫学講座
主任教授 大平 哲也 様

配分金支払日

12月分▶ 1月31日(木)

1月分▶ 2月28日(木)

2月分▶ 3月29日(金)

3月分▶ 4月26日(金)

※入金確認ができるのは午後2時頃になります。
※配分金明細書をご希望の方は事務局に声をかけてください。

※平成30年分の配分金支払証明書は、1月末頃
圧着ハガキにて郵送予定です。

地区会議開催中

西1、松川、福島2、蓬莱地区は12月に終了していますが、それ以外の地区は以下の日程で開催しますので、ご出席ください

日にち 午前(9:30) / 午後(13:30)

1月17日(木) 東地区 / 1地区

21日(月) 北1地区 / 飯野地区

24日(木) 南地区 / 西2地区

28日(月) 北2地区 / 飯坂地区

入会説明会(毎月第2火曜日)

「1会員新規会員1名確保運動」展開中です。
下記日程で入会説明会(午後1時30分開会)を開催しますので、お知り合いの方に声をかけてお誘いください。

1月8日、2月12日、3月12日

4月9日、5月14日、6月11日

会員の「声」を募集しています!

仕事の体験談はもちろん、特技、趣味、旅行記、なんでも構いませんので、みなさまの「声」をお寄せください。事務局にて随時受付しています。

(事務局担当：川口、河野)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

伊藤 務 様 (73歳) 二小B

編集後記

平成の御世もあと少しという昨今、当福島市シルバー人材センターの秋の行事も事無く終了しました。
十月二十二・二十三日の互助会旅行会、十一月三日のシルバーまつり、十一月十五日の社会奉仕作業、十一月二十一日の勤労感謝の集いと矢継ぎ早の行事にも会員のご理解のもと、多くの参加により盛大裡に終えることができました。
会員のご協力と参加無しでは運営の成り立たない組織でありますので、今後とも絶大のご協力をお願いするところで。

○ひと年を締め括るごと苦する
筋なす雲の片側染めて
一年の締め括りにふさわしい光景。

(高橋)